

2024年度 高等学院同窓会学術研究奨励金  
研究成果報告書概要 (WEB 公開用)

高等学院長  
高等学院同窓会理事長 殿

研究代表者氏名 [ 岩佐 修司 ]

学年・組・番号 [ 3 年 4 組 7 番 ]

研究課題: FIRST LEGO League (FLL) のミッションに沿ったロボットやプレゼンテーションの  
製作と、昨年度の FLL に参加したことで発覚した問題点の改善。

(英文) Creating robots and presentations in line with FLL mission, and improve of  
problems that were found as a result of practicing in last year's FLL.

研究概要:

(研究課題を選んだ動機、達成するための計画・目的・方法等について 200~400 字で記入してください)

<FLL とは> 国際的なロボット競技会であり、ロボットゲーム・作ったロボットの特徴を発表する  
ロボットデザイン・毎年発表されるテーマに沿った研究をし発表するイノベーションプロジェクト・  
チームの協調性や大会への熱意が問われるコアバリューの4つの項目から採点される。

<目的> 昨年度も出場して予選敗退という結果になってしまった FLL に再挑戦し、昨年度に学んだ  
ことを活かしながら自分達のロボット製作やプレゼンテーションの腕を磨く。

<計画・方法> 大会のスタートである8月までに昨年度から改善出来る部分話し合い、8月からは  
12月の大会本番に向けて力を入れて研究に取り組んだ。大会1カ月前である学習発表会では自  
分達の研究を紹介して広めるという活動をした。

研究成果:

(研究の結果概要、結果に対するフィードバックや感想等について 200~400 字で記入してください)

<結果> 39 チーム中上位 13 チームが全国大会へ駒を進める東京大会 Day2 で 15 位と、予選敗退と  
なってしまった。ロボットゲームは 8 位(昨年度 20 位)と、センサー等を上手く活用し、良い順位  
に入ることが出来た。ロボットデザインは 17 位(18 位)で、昨年度は時間をかけられなかったの  
で、今年度はロボットゲームと同時にやったが、十分に伝えることが出来なかった。今後は  
スライドを時間内に収めようとするのではなく、多めに作って取捨選択するようにしていきたい。  
イノベーションプロジェクトは 20 位(21 位)で、昨年度出来なかった、研究成果について専門家  
に意見をもらう、ということは出来たが、将来の具体的な計画がなかった。コアバリューは 20 位  
(22 位)で、アピールの仕方があまり良くなく、他のチームとの交流もあまり出来なかった。

<感想> 悔しい結果となってしまったが、この経験を無駄にせず、今回学んだことを今後の生活  
に活かしていきたい。

研究者: (以下の、代表者・分担者は学年・組・氏名を明記する)

研究代表者 中学3年4組 岩佐修司

研究分担者 中学3年1組 掘越 啓介 中学3年2組 近藤 壮真

中学3年4組 岡部 朋哉 中学3年2組 高木 航太郎

担当教諭 小川 慎二郎 先生 (受給額: 30000 円)

※研究課題、研究概要、研究成果、研究代表者名が WEB ページ上で公開されることに同意します  
(次のページに続きます)

**研究成果写真：**

(研究過程がわかる写真や、研究結果がわかる写真などを数点貼り付けてください)



**ロボットゲームの様子**



**ロボットデザイン/イノベーションプロジェクトの発表**



**大会のブースの様子**